

第2回スポーツ振興賞受賞作品概要

☆スポーツツーリズム賞		
国土交通省観光庁 長官賞	作品名	神戸ランニングフェスティバル
	応募者	神戸ランニングフェスティバル実行委員会（兵庫県神戸市）
日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞	作品名	諏訪湖温泉ラージボール卓球大会 ～広域連携によるスポーツツーリズムの推進～
	応募者	諏訪湖温泉ラージボール卓球大会実行委員会（長野県岡谷市）
	作品の概要	<p>今年第3回を迎えた神戸ランニングフェスティバルは「神戸の文化・魅力を目一杯楽しんでいただけるランフェスティバル」をテーマにしたランニングのおまつり。</p> <p>夕暮れ時、神戸の夜景を楽しんでいただきながらランニング、ゴール会場はパーティー会場となっており、夜景を眺めながら、ジャズの生演奏とワインを楽しんでいただくフェスティバル。</p> <p>コースは、神戸の夜景が綺麗な観光地として知られるメリケンパーク～ハーバーランドで5キロと10キロのコースを設定。恋人の聖地であるハーバーランド、神戸の観光スポットとして知られるポートタワー、デートスポットとして知られるメリケンパーク等「神戸らしさ満点」なコースとなっており、走りながら観光ができる。</p> <p>楽しく走ることが目的なので記録測定や速さの競争は行わず、神戸を楽しんでいただくことと、ランナー同士の交流が目的。県外からの参加者やボランティア、地元企業の協力も得られた。今後も年1回の開催を目指す。</p>
	作品の概要	<p>諏訪湖温泉ラージボール卓球大会は、長野県諏訪湖周辺の2市1町の観光協会、事業者が中心となり実行委員会を立ち上げ、2013年3月に第1回を開催実施した。諏訪市の上諏訪温泉では3月中旬の比較的宿泊客が少ない平日を利用し安価で宿を提供し、下諏訪町では諏訪大社下社を中心とした観光地めぐり、岡谷市は50台の卓球台と県下最大級の体育施設を大会会場として提供。行政、観光協会、観光事業者、卓球協会、地元企業などが協力し、新たなネットワークも構築された。ラージボール卓球は通常の卓球の玉より大きくラリーが続くので年配の愛好者が多く、スポーツを通じた健康志向の参加者が多い。最高年齢は92歳。</p> <p>観光庁のモニターツアーを実施し、大手旅行業者、スポーツメーカーとも連携し、首都圏と中部圏からの直行バスの運行・上諏訪温泉の宿の手配・総合案内の他に、全国のラージボール愛好者への大会参加を呼び掛けた。観光協会会員のお出迎え、交流会での岡谷太鼓の演奏、木遣り歌の披露などに「来年も是非参加したい。」「みなさんのおもてなしがすばらしかった」などの意見多数。</p>

☆スポーツとまちづくり賞

経済産業省 商務情報政策局 局長賞	作品名 応募者	40年前から推進する「スポーツ」による地域活性化及び観光客誘致 一般社団法人洞爺湖温泉観光協会（北海道虻田郡）
	<p>作品の概要</p> <p>40年前から実施している「洞爺湖マラソン」は、現在、全国で開催しているマラソン大会の先駆的存在。人情味のある大会運営と風光明媚なコースが人気で、年々参加者は増大。特に地元団体が調理する郷土料理は遠来の選手に大好評で、現在も継続。競技後には無料で温泉を楽しめ、昨年は7339名がエントリーした。</p> <p>また、昭和63年からは「北海道ツーデーマーチ」を周辺市町村と協力して開催。昨年は4市町を巡る8コースを用意し、初日約930名、2日目450名が参加した。</p> <p>「洞爺湖温泉誕生100年記念」にあたる2010年は新規事業「スポーツイベントの誘致」に挑戦。クラブサッカーフェスティバル、全日本ラリー選手権、サイクリング競技などを実施。</p> <p>昨年開催の北海道初の「アイアンマン・ジャパン北海道」は、スポーツをキーワードに様々な事業を行ってきた成果の集大成といえる。これまでのノウハウを生かし、洞爺湖を主舞台に約1600人が参加。9町村が協力し、交通誘導や選手サポートに約600名のボランティアが活躍。</p>	
日本商工会議所 奨励賞	作品名 応募者	ツール・ド・三陸 2013 ～りくぜんたかた・おおふなと～ ツール・ド・三陸2013実行委員会（東京都港区）
	<p>作品の概要</p> <p>東日本大震災で甚大な被害を被った東北地方三陸エリアの復興町づくりを、環境にやさしく、健康的な自転車イベントの開催で応援しながら、地域振興と広域観光の推進を継続的にサポートし、サイクリングの楽しさを広く啓発することを目的に開催。</p> <p>2005年まで20年間開催されていた「南三陸サイクルロードりくぜんたかた」を、復興の起爆剤として復活させたいという声で、昨年は第一回、今回は第二回の開催となった。出場者数：700名、会場来場者：4500名、出場者の70%は県外からの出場。</p> <p>主旨に賛同したグレッグ・レモン氏が自主的に出場を決意。多くの参加者とのふれあいを持った。</p> <p>また Google の全面協力で、コース沿道をストリートビュー撮影車が走行。沿道がストリートビューに写るので、メッセージボードを掲げて参加することを呼びかけ、多くの市民が沿道に集まった。</p> <p>さらに、被災で運動場がなくなり、運動の機会が減ってしまった子供たち向けに「自転車教室」を開催。参加者アンケートでは100%の満足回答が得られた。</p>	
スポーツ健康産業団体連合会 会長賞	作品名 応募者	スポーツと街づくり「スポーツによる町興し～群馬県みなかみ町」 株式会社デサント（東京都豊島区）
	<p>作品の概要</p> <p>過疎地に指定された温泉地（群馬県みなかみ町）を、スポーツや食育をベースに再活性化させるプロジェクト。地元自治体と企業が密接に連携プレイを図り、自然と地元の産物をフルに活用し、首都圏からの集客を募り、観光収入源の増幅を図る。地元のマラソン大会をデサントが冠スポンサーをし、箱根駅伝で活躍した選手達をゲストランナーに迎えたり、吉本芸人と一緒にランしたり、ソフトの分野で協力することによって、参加者も急増。また、首都圏の子供たちを招待して、夏冬スポーツ合宿を定例化し、地元の小学生との交流会も設けて、都会と田舎のキッズ交流会も行う。</p> <p>2011年にスタートして丸2年経過し、みなかみ町への年間来訪客は毎年20%増。地道な活動をマンスリーに行くことによって、口コミ需要が増し、アウトドアやラフティングなど隠れた名所が一気に全国区人気に広がりつつある。町民の方々が笑顔になって、お客様を迎える心、おもてなしに目覚めたのが、何よりも嬉しい。事業は、デサントキッズスポーツ教室、すこやかキッズスポーツ塾、デサントスポーツ健康教室、デサント藤原湖マラソン、アドベンチャーフェスティバルなど。</p>	